

センターだより

財団法人 岐阜県教育文化財団
文化財保護センター

ぎふの
埋蔵文化財

ぎふの 埋蔵文化財

47

2006.11.1

岐阜県の埋蔵文化財
情報が満載



特集の うち

「野内遺跡の謎を探る」

報告

「小学生も中学生も高校生も、みんなチャレンジ考古学!!!」

考古学教室⑧

水田に残された足跡

情報BOX

ぎふ埋文サポーターズクラブ設立 ほか

センター掲示板

現地説明会のお誘い ほか

特集 野内遺跡の謎を探る



これは何？

野内遺跡B・C地区では、須恵器、灰釉陶器とよばれる古代（奈良時代・平安時代）の土器がたくさん出土しています。その多くは破片ですが、中には変わった形の破片もあります。これは何に使ったものなのでしょう。



なんと書いてある？

土器の破片に、墨で書いてある文字や記号（墨書）が、200点以上も見つかりました。漢字として読める文字や、文字なのか記号なのかよく分からないものなど、様々です。これらの墨書を観察すると、漢字の書き方にはいろいろなくせがあることが分かります。何人もの人が、たくさんの硯を使って、様々な文字を書いていたのでしょう。



山の中なのに「海」？

近くに海のない飛騨山中の遺跡なのに、墨書の中に「海」と読める文字が見つかりました。「海」は何を意味するのでしょうか。



これは、文字を書くときに使われた古代の硯です。上から見た形が円い硯（円面硯）は、野内遺跡B・C地区から、少なくとも8点出土しています。その他、土器を裏返した底の部分や茶碗のような形の土器（杯・碗）に、墨を入れて硯の代わりに使ったもの（転用硯）も出土しています。

当時、一般の人々は、文字を書く必要がありませんでした。硯が出土したことから、文字を書く必要のあるお寺か役所が、この近辺にあったことが分かります。

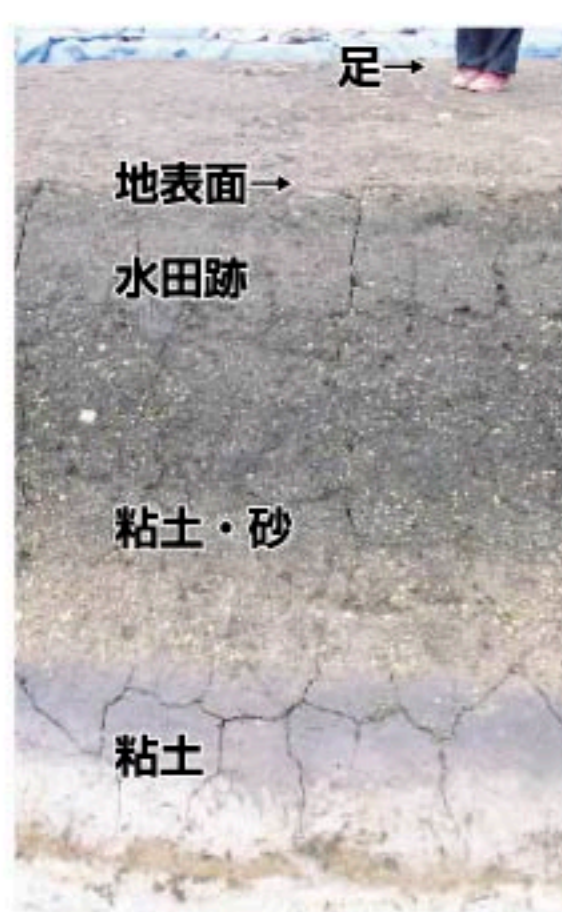


「海」には、広々と水をたたえた所（湖）という意味もあります。野内遺跡B・C地区の地下には3m以上の粘土や砂が積もっています。何万年もの間、海（湖）があった証拠です。

B・C地区では古代の水田跡を発見しています。その周辺部に、「海（湖）」ととらえられるほど広がっていたかどうかは分かりませんが、水をたたえていた可能性はあります。

江戸時代に書かれた『飛騨国中案内』には、野内遺跡B・C地区と瓜巣峠（寿美峠、高草洞峠）を通って「うるす村・瓜巣村」へと向かう道を「うるす海道・瓜巣海道」と記してあり、「海」の文字が出てきます。江戸時代の初期までは、諸国を結ぶ主要な道を「海道」とよんでいたのです。＊峠を通らず尾根先を川沿いに迂回する、現在の主要な道（国道41号）は、江戸時代に、川越えがあって不便だった所を金森氏が整備したものです。また、B・C地区の近くに、主要な道を意味する「往還」という字も記してあります。江戸時代以前は、瓜巣峠が「海道」（主要な道）だったと考えられます。

※正徳6（1716）年の御触書で、「五街道について、海端を通らない道は「海道」と呼ばない」とされ、「街道」の文字が広まった。もちろん、墨書「海」が、「海（湖）」「海道」との関係で書かれたという確証はありません。ただ、古代には海に面した地域を「東海道」などとよび、それが主要な道の名称になっていきました。瓜巣村への道が、水に面していたり主要な道であったりしたなら、その近くにあった役所で、部屋や役人の名前などに「海」を使う事があっても不思議ではないでしょう。

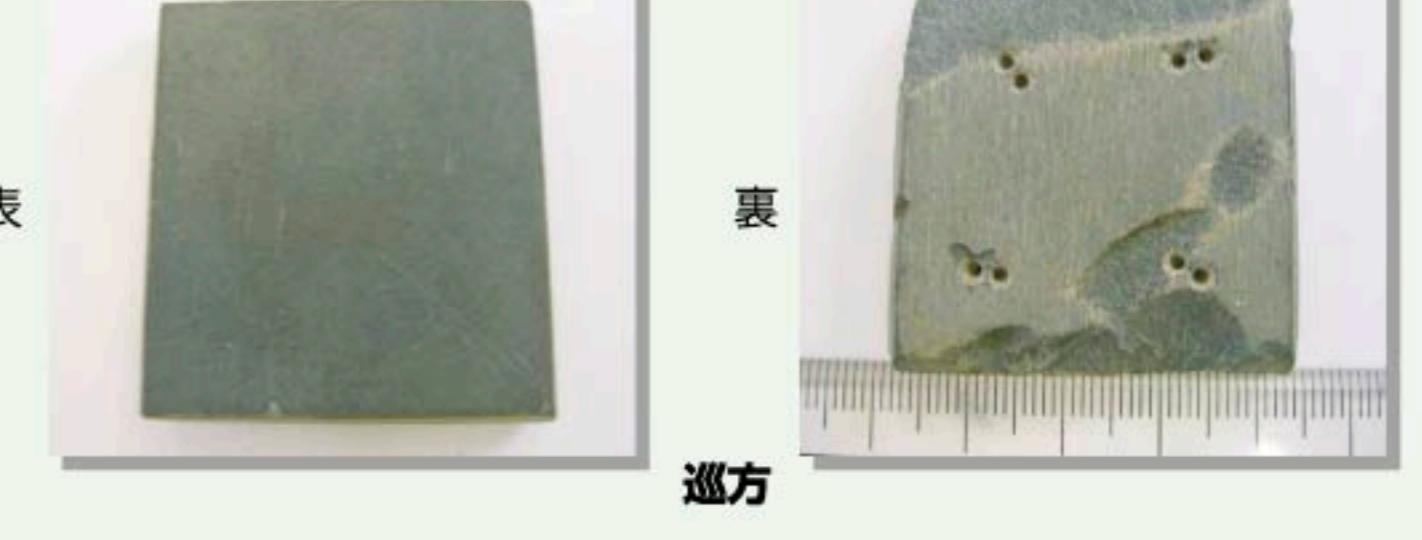


お寺なのか？役所なのか？

一般の家にはない特別な物が、硯以外にもいろいろ出土しています。外国（中国）からの輸入品である緑釉陶器、木製机の一部、石で作られたベルトの飾り（巡方）などです。

中央（奈良・京都）との関係が深いお寺と役所は、出土する物が似ています。ただ、ベルトの飾り（巡方）は、僧侶が身に付けるとは考えにくく、役人が身に付けていたと考えて良さそうです。

このことから、野内遺跡B・C地区の近くに、役所があったと言っても良いでしょう。残念ながら、発掘調査した範囲には役所の建物跡はありませんでした。

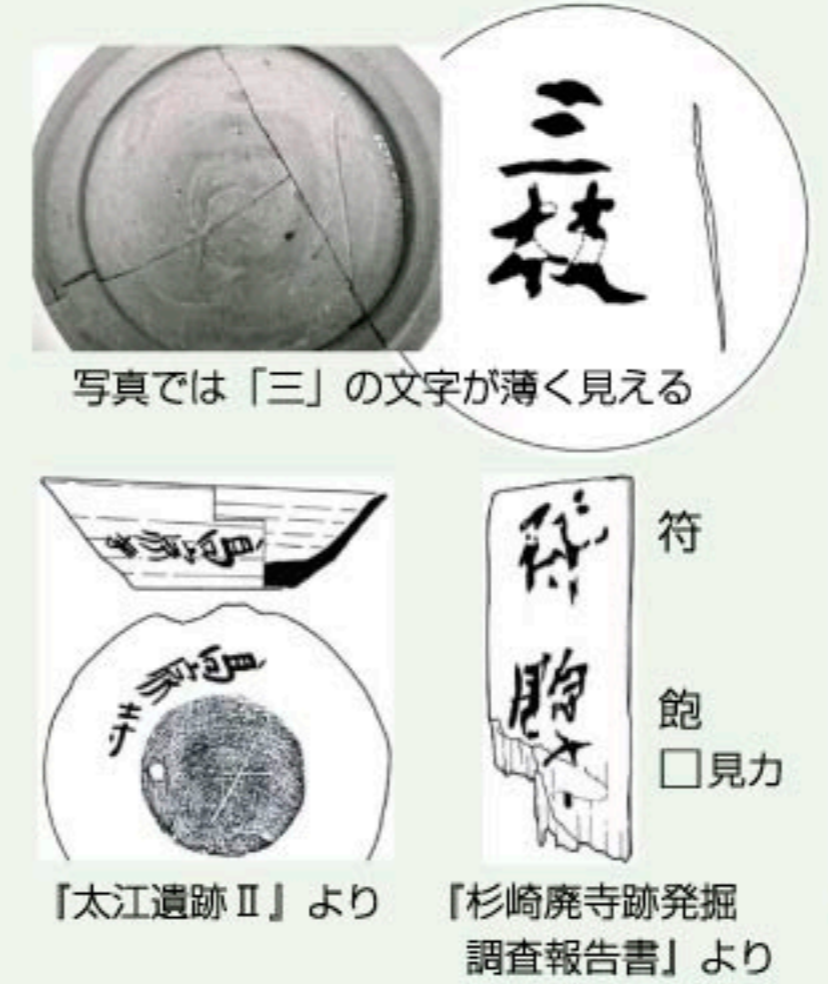


墨書「三枝」の意味は？

墨書の中に「三枝」と読めるものが見つかりました。古代の百科辞典『和名類聚抄』の飛騨国の所に書かれている郷の名前と同じです。読みは「サイクサ」です。

「三枝」と書かれた土器が出土したことから、「三枝郷」の場所は野内遺跡B・C地区の辺りだと言えます。地元で語り継がれてきたことが裏付けられました。

飛騨地方では、郷名の記された土器や木簡がお寺の跡からも出土しています（高家郷：「高家寺」「高家」／飽見郷：「飽□」）。このうち高家寺は、交通の要所である峠の入り口に建てられていました。三枝郷でも、交通の要所である瓜巣峠への入り口をにらんで役所かお寺が建てられていたのかもしれませんが。



荒城郡	大野郡	益田郡	飛騨国
高家加岐へ	深河布加々波	名張	阿拝安波
遊口阿曾布	飽見阿久美	荒城	山口
		三枝	秋香阿岐比呂
		左久佐	

【和名類聚抄】 飛騨国の郡・郷





報告

小学生も中学生も高校生も、みんなチャレンジ考古学!!

考古学に親しみ埋蔵文化財保護の大切さを知ってもらうために、今年の夏も小・中・高校生を対象に、縄文土器の研究と製作、勾玉作り、親子発掘体験、職場見学、職場体験、出前授業など、さまざまな考古学体験や学習を行いました。ここでは、小学生を対象に行った「夏休みキッズ考古学」、中学生を対象に行った「職場体験」、高校生を対象に行った「出前授業」を取り上げ、その奮闘ぶりをみなさんにお伝えします。

火の1

夏休みキッズ考古学

縄文人のワザに迫る3日間の体験ドキュメント

この講座「夏休みキッズ考古学」は今年で2回目。昨年度の参加者の声を生かして、日程を2日間から3日間に延ばしての実施です。単に土器作りをするだけでなく、出土した本物の縄文土器を保管しているセンターならではの良さを生かして、研究的な要素をふんだんに取り入れた企画にしたところに特徴があります。各学校に配られたチラシを手にして、「やってみたい!」と自らの意志で参加してきた子どもたち。歴史への関心の高さと活動に取り組む意欲には、ただただ感心させられました。3日間の子どもの様子を追ってみました。

7月25日

①縄文時代と縄文土器について知る



県博物館で特別展を見学し、「縄文時代はどんな時代だったのか。」「縄文人はどんな暮らしをしていたのか。」「縄文時代に作られた土器はどのような特徴があるのか。」など、展示物を見ながら縄文時代や縄文土器について学習しました。

②土器の飾りや文様を研究する



実物や写真を見ながら、土器につけられた飾りや文様を観察しました。文様については、実際に使われたと考えられる小道具を使って、粘土に文様をつけたり文様を拓本にとったりしました。実際につけられている文様を肌で感じ取っていました。

7月26日

③土器の設計図を書く



作りたい土器の設計図を実物大で書きました。「どんな形にしようかな。」「どんな飾りや文様をつけようかな。」と、知恵をしぼりながら考えを形にしていました。どの子の設計図も自分らしさがにじみ出ていました。

8月23日

④土器を作る



縄文時代の粘土を研究している人たちが作った粘土を使って、「ひも積み」という方法で土器作りに挑戦しました。ひもを積み重ねていってつなぎ合わせながら形を作っていきます。形が出来たところで飾りや文様をつけます。子どもたちの集中力には驚きました。

⑤土器を焼く～野焼き～



野焼きという方法で、自分たちで火の管理をしながら土器を焼きました。時間をかけて土器の温度をあげていくのが土器を割らないコツです。どの子も真夏の暑さと火の熱さで汗だくでした。土器を焼く大変さを肌で感じた時間です。

⑥体験活動をまとめる



3日間の活動の写真や自分の思いをつづった文章を使って、3日間の体験活動をファイルにまとめました。体験を通して、その子なりに、土器に込められた縄文人の知恵やワザを感じ取ることができました。

体験後の感想につづられた充実感

参加した小学生の感想

僕は、この体験を終えて思ったことが3つあります。一つめは、外の暑さと火を使うときの熱さ、とても熱くてさわるのがわかったということ。二つめは、土器を作るときに、「てきぱきと作らないと粘土がかわいてしまって、またやり直しになるし、できてもすぐに割れてしまう。」というアドバイスに、少しあせって土器がゆがんでしまったことが「くやしかった。」という思い。三つめは、僕がとても苦労をし、うまく作ったのに、土器を焼くときに少なからずヒビが入ってしまったり、「底」の部分がぬけてしまったりと、必ずどこかに「ミス」があるにもかかわらず、縄文時代の人々は、ほぼ「ミス」のない土器をとてたくさん作っていて、しかも、どうして僕らにはできない「ワザ」をつくした土器を作っていた縄文人に対するそんけいと感動。

縄文人は、大昔の人とはいっても、素晴らしい技術を持っていた。ぼくらの「祖先」である縄文人は、「本当にすばらしい!!」と、改めて感動しました。(小学校6年男子)

一緒に体験した保護者の感想

とても充実した3日間でした。初めに県博物館で本物の土器を見せてもらい、縄文時代の生活を子どもなりに学習できたことが、次の拓本、土器作りに役立ったと思います。「何でもやってみなければわからない!!」と改めて実感しました。

拓本、本当に細かい作業でびっくりしました。子どもも、そっと手の上に土器をのせ、教えてもらいながら一生懸命取り組んでいました。土器作り、「できるのかしら?」と親子ともども心配でしたが、粘土をこね、少しずつ積み上げていき、最後に形ができあがった時は感激でした。1か月が待ち遠しく、野焼きの当日は思った以上に火の熱さに驚きつつも、自分で確かめながら土器を焼くことができ、本当にすごい体験になりました。

3日間、お世話になりました。違う学校の子とも仲良くなり、助け合うこともでき、良かったと思います。今後、歴史に興味を持ってくれたらと思っています。(参加者保護者)



火の2

職場体験学習 昔の人たちに思いを馳せて

職場体験は中学生を対象にした受け入れ事業です。今年度は、伊奈波中・岐大付属中・池田中・興文中・国府中・中山中・古川中の生徒が、発掘現場で発掘作業や測量作業、整理所で遺物の整理作業をそれぞれ体験しました。



発掘作業体験では、汗まみれ、土まみれになって、昔の人々が残した生活の跡や遺物を探す作業をしたり、それらを記録に残す測量などの作業をしました。整理作業体験では、見つかった遺物を洗う作業や、土器の文様を写し取る拓本作業、土器を正確に図化する実測作業やトレース作業をしました。一方では体力のいる仕事、もう一方では根気のいる仕事、考古学に関するさまざまな作業にやる気と目的意識を持ってチャレンジする姿に感心しました。



実測とトレースの仕事をやらせてもらいました。どちらも細かい仕事なので気合いを入れてやりました。実測の作業を実際にやってみると思っていた以上に大変でした。土器のどこかを観察したり、道具を使って土器の厚さを測ったり、本当に根気のいる仕事で大変でした。体験を通して、自分が未熟だと思ったり、改めて社会の厳しさや仕事の厳しさ、難しさを感じました。(伊奈波中2年男子)

火の3

出前授業 石器について学ぶ

出前授業・出前講座は、さまざまな方々を対象にした出張事業です。今年度は、高校をはじめ、小学生歴史クラブやシニアの方の生涯学習講座にも出かけていきました。



大垣南高校での授業の様子です。石器を題材にした考古学(縄文時代)の授業を行いました。縄文人の知恵や技術を探ろうと、生徒の皆さんは熱心に話を聞いたり、石器の分類などの作業を行いました。

お問い合わせ

来年度も今年度同様にさまざまな形で考古学に関する講座、授業体験等を実施する予定です。ご期待ください。また、遺跡の見学、発掘体験・出前授業などは随時受けつけています。当センター調査部へお問い合わせください。

水田に残された足跡



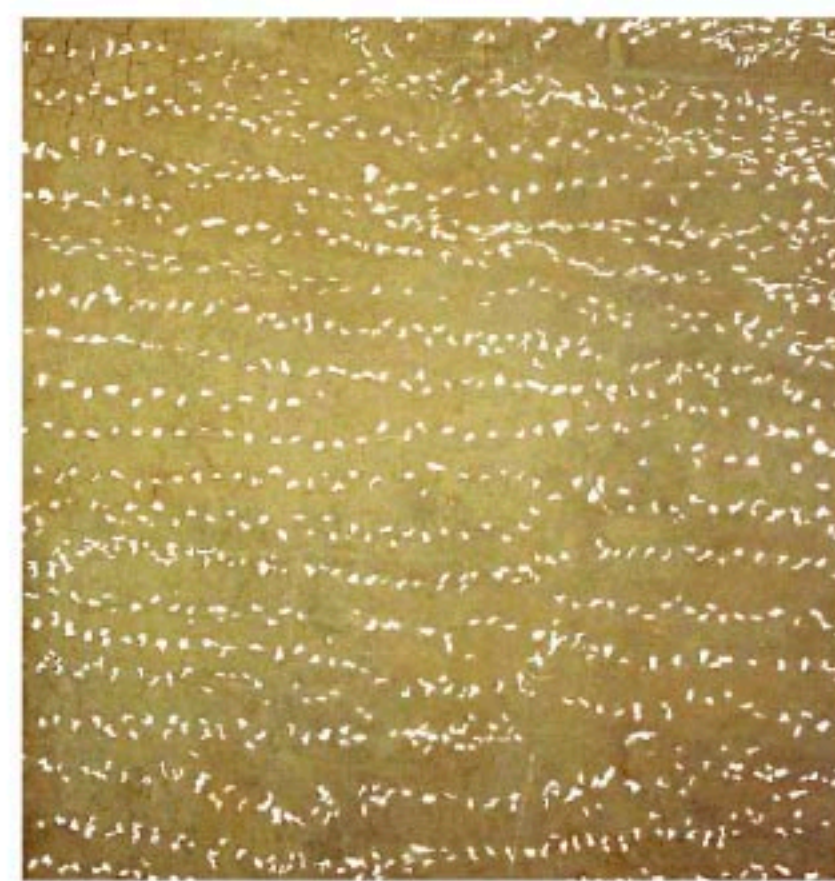
春日井 恒

遺跡には、過去のことを教えてくれるたくさんの情報が埋まっています。発掘調査では、その情報をできる限り収集するように努力しています。

平成5年から平成7年に発掘調査を行った大垣市の今宿遺跡では、洪水の影響によって土層が何層にも積み重なり、弥生時代の終わり頃から古墳時代中期、そして中近世の水田跡や、弥生時代の終わり頃から古墳時代前期の集落の一部が、2m程堆積した土の中から重なった状態で見つかっています。

水田跡である証拠は、発掘調査では水田を区画した大きな畦や水を張るために細かく区画した畦が見つかることですが、イネが確実に存在していた証拠は、プラント・オパールというイネ科の植物に含まれるガラス質の細胞を探し出すことにあります。これをプラント・オパール分析と呼んでいます。

今宿遺跡では、古墳時代中期や中世の水田跡がほぼ同じ土層で見つかりました。これは、古墳時代中期から中世までにあまり土が堆積していないことを示しています。この土層の下には約1mの洪水によってもたらされた砂の堆積がありました。この砂層を取り除いていくと、土手のような大きな畦が出現し、やがてこの大きな畦によって土地が区画されていることがわかりました。さらにこの内部から多数のヒトの足跡が見つかりました。



水田の足跡列 (白い部分が足跡)

この大きく区画され、足跡が残された場所は、出土した遺物から古墳時代前期のものであることがわかりました。また、大きな畦で区画されていることから水田跡であろうと予測しました。また、この区画の中に、ヒトの足跡が10,000歩近くも残されていました。この足跡は、一体何を教えてくれるのでしょうか。

足跡が残されているためには、二つの条件が必要です。足が沈み込むような軟らかい土であることと、足跡が崩れてしまう前に、異なる土が足跡を埋めてしまうこと(同じ土だと見つけられなくなります)です。今宿遺跡の場合は、川の氾濫によって運ばれてきた砂が足跡を埋めていました。そして、足跡が残っていた水田と思われた区画には、次のような特徴がありました。

- ①大きな畦はあるが、小さな畦がない。
- ②足跡が何列も並んで見つかった。
- ③足跡は歩幅が一定で、複数のヒトが並んで作業を行っていた。
- ④足跡が残された土層の下からは小さな畦で区画された水田跡(下層の水田と呼んでおきます)が見つかり、大きな畦は同じものをそのまま使っていた。
- ⑤下層の水田では、稲穂が一つ見つかった。

「足跡は何をしていた時についてのだろうか?」そうした疑問を解決するために、土壌学や人類学、自然科学分析の力を借りました。

土壌学の先生からは、「足跡が見つかった土層は、洪水の浸水によって自然に堆積した土で、そのままの状態である。」ことを教えていただきました。そうするとこの土は耕されていない土ということになります。

東南アジアの農業の民俗例に詳しい先生からは、「東南アジアの湿地水田では、田植えの前に草刈りをし、刈った草を土と混ぜて小さな畦を作るだけで、耕すことをしていないから、弥生時代の水田のような湿地に作る水田も同じようなものだったのではないか。」と教えていただきました。

足跡は人類学の先生に分析をお願いしました。そうしたところ、「歩幅や列の間隔から35cmという長さ一つの単位とした作業を行っている。」といったことがわかりました。規則的な足跡は、あたかも田植え作業かイネが植えられていた間を歩いていた姿を想像させるものでした。しかし、他の状況からは田植えの可能性が低いことがわかりました。

足跡が残された土を用いて、プラント・オパール分析も行いました。水田跡ならば、稲の証拠が見つかるはずですが、分析ではごくわずかし土の中には含まれていないことがわかり、足跡が残っていた土にはイネを作っていた証拠は見つけられませんでした。また、小さな畦を作っていないことも、田植え前の状態であったことを示しています。

では、当時のヒトはここで何をしていたのでしょうか。

下層の水田には小さな畦が作られ、稲穂も見つかっていますので、水田跡であることは間違いありません。稲穂が出土したことから、この水田での収穫の後、大雨による浸水で、この水田は泥で埋まってしまったようです。大雨の後、水が引き雑草が生えていた水田で、まず最初に行ったのは草刈りだったと思われます。ところが、小さな畦を作る前、おそらく草刈りを行って間もなく、洪水がこの地を襲い、1m近くの土砂で水田を埋め尽くしたのだと推測できました。しかし、今宿遺跡で見つかった足跡が、草刈りを行った際のものと断定するには、まだ不確かさが残されています。

足跡のような、多くの偶然が重ならないと残されないものは、他の遺跡の発掘調査でもあまり発見例がありません。もう少し、似たような足跡列の発見があれば、どんな作業なのかははっきりと断言できるようになるでしょう。

発掘調査によって見つかった遺構や遺物だけでなく、花粉やプラント・オパール分析、人類学や土壌学などの力を借りて、より多くの情報を得、遺跡の理解を深めるよう努力しています。



足跡の断面写真 (中央のくぼんだところ)

情報BOX

ぎふ埋文サポーターズクラブ設立ほか

ぎふ埋文サポーターズクラブ 会員募集!

このたび、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センターを応援する「ぎふ埋文サポーターズクラブ」を設立しました。歴史や遺跡に興味のある方、会員(サポーター)になってみませんか。

- 会員になると → 文化財保護センターが発行する「まいぶん情報(広報誌きずな、現地説明会資料ほか)」がお手元に届きます。
- 資格・会費等 → どなたでも入会可能です。年会費は1,000円です。
- 申込み方法 → 郵便局にて下記口座に年会費1,000円を振り込んでください(恐れ入りますが振込手数料はご負担ください)。

口座番号 00890-2-186739 口座名称 ぎふ埋文サポーターズクラブ

お問い合わせはぎふ埋文サポーターズクラブ(川部・菅原)まで



特別展図録(1,000円)を販売しています。サポーターズクラブへお問い合わせください。特別展「縄文人ってなかなかすごい!!」は好評のうちに終了しました。図録は縄文時代をわかりやすく学べるようになっています。ぜひお手元にどうぞ。

センター保管の遺物が ここで展示されています!

文化財保護センターが発掘調査し、保管している遺物が、下記の施設で展示されています。それぞれの館が趣向をこらした展示を行ってられます。是非ご覧ください。

可児郷土歴史館 (TEL0574-64-0211)

特別展「岐阜県の縄文土器」 開催中~11/26(日)

西田遺跡・岩垣内遺跡(高山市丹生川町)・上岩野遺跡(同清見町)出土遺物

多治見市文化財保護センター (TEL0572-25-8633)

企画展「岐阜県の縄文土器からわかること」

開催中~12/1(金)

西田遺跡・岩垣内遺跡・牛垣内遺跡・たのもと遺跡(高山市丹生川町)・上岩野遺跡(同清見町)・岡前遺跡(飛騨市古川町)・陰地遺跡(東白川村)・大平遺跡(恵那市申原町)出土遺物

中山道みたけ館 (TEL0574-67-7500)

特別展「いにしへの御高を訪ねて」

開催中~12/17(日)

顔戸南遺跡・金ヶ崎遺跡・上恵土城跡・浦畑遺跡(御高町)出土遺物

(三重県) 鈴鹿市考古博物館 (TEL059-374-1994)

特別展「不思議な石の道具たち」 開催中~12/10(日)

西田遺跡・カクシクレ遺跡(高山市丹生川町)・上岩野遺跡(同清見町)・荒城神社遺跡(同国府町)出土遺物

「きずな」46号の訂正

前号のきずなに誤りがありました。お詫びいたしますとともに、下記のとおり3か所の訂正をお願いいたします。

記

①3ページ

上原遺跡の玉類の写真が違っていました。右の写真が正しいものです。



②4ページ

岐阜県地図中に小洞遺跡の位置が抜けていました。関市にあります。

③4ページ

荒尾南遺跡・松遺跡の紹介文下から3行目の「弥生~」が違っていました。正しくは、「古代末から戦国時代にかけての遺跡であることが判明しています。」

あ と が き

長年発掘調査を実施してきた旧徳山村。9月から徳山ダムの試験湛水(たんすい)が始まり、調査した遺跡が少しずつ水没しています。7月から10月まで二会場で開催した特別展「縄文人ってなかなかすごい!!~わくわく徳山縄文ワールド」が終了しました。「土器の文様や石器の切れ味などの体験が楽しかった。」「縄文時代がよくわかった。」「徳山ですごい物が出たんだな。」など、うれしい言葉をいただきました。多くの方にふるさと徳山の縄文時代に触れていただき、ありがとうございました。



センター掲示板

現地説明会のお誘い

発掘調査の成果を、ぜひ現地でご覧になりませんか。



み えだじょうあと
三枝城跡(高山市)
中世の山城跡
11/11(土)13:30~15:00



あら おみなみ い せき
荒尾南遺跡(大垣市)
弥生~古墳時代の集落跡
11/18(土)13:30~15:30



こ ぼら い せき
小洞遺跡(関市)
古墳・中世の墓
11/25(土)13:30~15:30

詳細が決まり次第、新聞やホームページ等でお知らせします。現地での調査を終了した中野大洞平遺跡(飛騨市)・野内遺跡(高山市)はホームページで紹介しています。

センター

- 7/ 1(土) 平成18年度発掘調査報告会(垂井町文化会館) 参加者132名
- 3(月)・4(火) 大垣南高等学校出前授業(2年生4学級156名)
- 15(土) 特別展「縄文人ってなかなかすごい!!」開幕 (岐阜県博物館)
- 25(火)・26(水) 夏休みキッズ考古学—縄文土器づくり— (岐阜県博物館・三田洞事務所) 27組34名参加
- 27(木) タイムスリップ探検隊—親子で発掘体験— 野内遺跡(高山市)26組53名参加
- 31(月) 高山市立西小学校出前授業
- 8/ 1(火) 小洞遺跡発掘調査開始
タイムスリップ探検隊—親子で発掘体験— 荒尾南遺跡(大垣市)24組57名参加
揖斐郡中学校社会科研究会研修(岐阜県博物館) 郡上市教育委員会明宝事務所
明宝歴史教室出前授業(岐阜県博物館)
- 2(水) 池田町立池田中学校生徒職場体験(荒尾南遺跡)
高山市立国府中学校生徒職場体験(飛騨出張所)
- 3(木) 大垣市立宇留生小学校職員研修(荒尾南遺跡)
市町村記念物保護担当者会議(三田洞事務所)
- 8(火) 安八郡中学校社会科研究会研修(荒尾南遺跡)
郡上市立明宝事務所
明宝歴史教室勾玉製作体験(郡上市明宝)
- 9(水) 岐阜大学附属中学校生徒職場体験
- ~10(木) (荒尾南遺跡・三田洞事務所)
- 9(水) 岐阜市立伊奈波中学校生徒職場体験
- ~11(金) (三田洞事務所)

日誌

- 8/11(金) 飛騨市立古川中学校生徒職場体験(野内遺跡)
- 12(土) 県政資料館ミニ展示(~9/29)
「古墳時代の遺跡ってどんなもの?坂祝町東野遺跡
生涯学習センター講師派遣
[岐阜県の歴史と先人・先輩に学ぶ講座]
- 19(土) 特別展講演会京都大学大学院泉拓良教授
参加者102名(岐阜県博物館)
- 20(日) 特別展講演会京都大学大学院泉拓良教授
参加者102名(岐阜県博物館)
- 23(水) 夏休みキッズ考古学—縄文土器づくり—(三田洞事務所)
- 9/ 1(金) 総合防災訓練
- 3(日) 特別展開幕(岐阜県博物館) 入館者数11,321名
- 9(土) 野内遺跡現地説明会 参加者115名
- 16(土) 特別展開幕(岐阜県ミュージアムひだ)
- 21(木)・22(金) 全国埋蔵文化財連絡協議会研修会(札幌市)
- 26(火) 野内遺跡発掘調査終了
- 30(土) 県民ふれあい会館ミニ展示(~11/10)
「古墳時代の遺跡であっ発見!!」
- 10/ 3(火) 三枝城跡発掘調査開始
- 6(金) 大垣市立興文中学校生徒職場体験(荒尾南遺跡)
- 11(水) 高山市立中山中学校生徒職場体験
~13(金) (三枝城跡・飛騨出張所)
- 16(月) 平成18年度埋蔵文化財等基礎講座
~17(火) (荒尾南遺跡・三田洞事務所)
- 18(水) 岐阜市立伊奈波中学校生徒職場体験
~20(金) (荒尾南遺跡)
- 22(日) 特別展開幕(岐阜県ミュージアムひだ) 入場者数2,002名
- 26(木) 全国埋蔵文化財連絡協議会
~27(金) 中部北陸ブロック連絡会(新潟県湯沢町)

Center News

ホームページ

<http://www.maibun.gifu-net.jp>

三田洞事務所

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1
TEL. 058-237-8550(代) FAX. 058-237-8551
e-mail: gifu@maibun.gifu-net.jp

飛騨出張所

〒509-4122 岐阜県高山市国府町名張字峠1425-1
TEL. 0577-72-4784(代) FAX. 0577-72-4690
e-mail: hida@maibun.gifu-net.jp